

# 泉南 アスベスト 被害救済 国会通信

●大阪・泉南アスベスト国賠訴訟原告団 / 弁護士

## 今度こそ、政治の力で一日も早い解決を！

### 満場の院内集会

29日(木)午後2時から、衆議院第1議員会館大会議室において、2陣地裁勝訴判決を報告する院内集会を開催しました。

院内集会には、衆参国会議員13名、秘書20名も参加していただき、会場を埋め尽くす参加者の下、盛況に終わりました。



集会では国會議員・支援の皆さまから、2度の司法判断が下された今こそ、政治の力で命あるうちの解決を求める発言が相次ぎました。

### 各党国會議員の皆様より

#### 衆議院議員 辻恵先生(民主党)

「2陣訴訟で勝訴判決が出た重みは大きい。政治の力で解決すべき問題だと思う。」

#### 衆議院議員 工藤仁美先生(民主党)

「企業の発展のためには労働者が踏みにじられても構わないと言う社会に対し、みなさんの闘いが一石を投じている。昨日の判決は、重い内容。こんなにたくさんみなさんが全国から集まっている事をしっかりと受け止めて、解決に向けてがんばっていききたい。」

#### 衆議院議員 近藤昭一先生(民主党)

「国の責任は重い。原告のみなさん、関係のみなさんの苦しみに寄り添っていかねければならないと思っている。」

#### 衆議院議員 佐藤茂樹先生(公明党)

「続いて2回目の国の責任を認める判決が出た

ことは、非常に大きな意味がある。司法の判断を国はしっかりと受け止めるべき。高裁の不当判決は否定された。国は、原告団の声を真摯に受け止めて、一日も早い解決を図らないといけない。」

#### 衆議院議員 吉井英勝先生(共産党)

「泉南のアスベストは100年前から。戦前は軍需産業のため、国策としてやってきた。国は70年前から泉南の被害はわかっていた。それに対して対策をとらなかった国の責任は重大。国に全面的に賠償させるという立場でがんばる。」

#### 衆議院議員 服部良一先生(社民党)

「不当な高裁判決で、腹立たしい、もやもやした思いだったと思う。大変重たい判決。政治の場にボールが投げられている。超党派の議員を結集してがんばっていきます。」

### 首相と厚労大臣に要請

3月29日、原告団と弁護士は、野田首相と小宮山厚労大臣に、被害者との面談と早期解決を求める要請書を提出しました。